

ORICNEWS

翔飛

ひこめい

No.6 (2004.10)



ORIC北側公園より

- 目次 -

巻頭言	2
研修・交流会活動	3~5
入居者の活動・トピックス	6・7
入居企業の紹介	7
Infomation	8
入居案内	8

巻頭言



「頑張れORIC！！」

財団法人岡山県産業振興財団
副理事長 青井 賢平

今、岡山県の産業は3つの空洞化と、3つのビルドが進んでいます。3つの空洞化は事業数の減少に見られる製造業の空洞化、空き店舗の増加に見られる商店街の空洞化、そしてもう1つは、公共事業の激減に伴う建設業の空洞化です。逆に3つのビルドは、情報サービス業、倉庫業、そして地域を挙げて頑張っている観光産業です。

県外からの企業誘致による産業振興は大きな期待が持てない現在では、既存産業の活性化と新規創業が必須であると考えられます。このような現状の中で、財団法人岡山県産業振興財団の役割は大変重要であると認識しています。

財団は、岡山県の研究開発、産業振興の拠点「岡山リサーチパーク」の中核施設である「テクノサポート岡山」内にあり、大学生や研究者等の創業支援から取引支援、経営革新、経営改善、技術支援、岡山TLO、資金助成そして企業再生の為のオペ(手術)まで幅広い機能を受け持っています。

この中で新規創業に関しては、ベンチャー企業の方などが、円滑に創業又は事業活動を行なうことが出来るよう、発展段階に応じて、資金、人材、経営ノウハウ、情報、技術等をサポートする様々なメニューを用意しています。また、窓口相談員を配置し、資金調達、公的支援制度の活用、マーケティング、法律・技術・特許など経営上の課題にきめ細かく対応しています。さらに、課題解決の手助けとなる専門家を直接企業へ派遣する専門家派遣制度も用意しています。

財団では、基本的に企業サイドに軸足を置き、全てを考えてみたいと思います。企業が財団の事業に対し遠慮なく参画しやすい雰囲気、「開かれた産業振興財団」を標榜しています。

ORICへ入居の皆さん、ご遠慮なく財団を訪ねて下さい。お待ちしております。「世界を目指して頑張れORIC！！」とエールを送ります。

ベンチャープラザ岡山 2004

日時：平成16年11月26日 10:00～17:30

プログラム：

- ・記念講演「夢を忘れていませんか」～”歩く100億円”の前向き人生～
[講師]よしかわグループ 代表 吉川 幸枝
- ・ベンチャービジネスプランコンテスト
- ・新製品展示 ・支援機関の情報提供

<主催> (財)岡山県産業振興財団

現在製品展示の募集を行っております。詳細は本誌8ページをご覧ください。



<http://www.optic.or.jp/zaidan/s22/venture2004/>

研修・交流会活動

7月度 交流会及びOIAセミナーの開催

交流会

事業紹介：㈱シスコ・コミュニケーションズ (有)T・I研究所

7月22日のORIC交流会の事業紹介は㈱シスコ・コミュニケーションズとT・I研究所が行いました。

㈱シスコ・コミュニケーションズは既存の機械式メータ（電気・水道・ガス）に取り付けることで検針数値をデジタル化して読み取るセンサーを使用した自動検針システム（TASS）の開発販売を目的に平成16年6月に設立されました。

韓国のベンチャー企業が開発したこのセンサーは、センサー内のCmosカメラでメータのカウンターを撮影して、その画像を解析し、データをGISシステムへ送信してGISと合わせて管理することができるものです。既存のメータをそのまま使用して、自動検針や使用量監視システムを、安価に簡単に構築することができます。現在、電力メーカーとフィールド試験を実施中で、今後の飛躍を目指しています。

引続いて(有)T・I研究所の高島先生より、事業紹介が行われました。同社は高島先生が㈱クラレや大学で蓄積した分析化学、医工学の技術を活用して商品の性能評価、安全性評価、技術指導相談を行う為、平成15年4月に設立されました。

極微量成分・生理活性物質の分析法の開発を始め、様々な受託研究や出願特許の説明をされた後、皮膚の汗から活性酸素を簡易測定し老化を判定する研究等についてお話されました。



(有)T・I研究所による事業紹介の様子



マーケティングセミナーの様子

セミナー

「マーケティングセミナー」

7月のセミナーは第2回おかやまインキュベータ協議会（OIA）セミナーとして実施しました。

『売れるモノづくり』と題して、中小企業ベンチャー総合支援センターの新居アドバイザーから講演がありました。

新商品開発コンサルタントとして独立されて16年間の間に1,500社と一緒に仕事をされた実績経験に基づいた具体的な内容あるお話でした。現在支援している会社数社の新商品を持参されており皆さん興味深く聞かれていました。

続いて起業家としての体験から『売れる仕組みづくり』と題して(有)ブイテックの武田社長（インキュベーション施設も運営）より、どのような仕組みを作るにしても徹底した費用対効果の事前検討が必要なこと、売ることがあって事業がある、売するためには全精力を出会いに賭けるべきであること、顧客は広告を見ても表題とサブタイトルぐらいしか見ないので、そこで心を掴む必要があること、一つの大きな池（事業）を作ろうとするのはリスクが大きくなるので小さな池（色々な仕事からの利益）を沢山作りお金を集める（自身も実際に実践している）方が生き残る確率が高い、等実践的な話でした。

8 月度 交流会及びセミナーの開催

交流会

事業紹介：グリーンゴールドバイオシステム(株) (株)オフィスヨーコー

8月の交流会は27日に開催され、事業紹介はグリーンゴールドバイオシステム(株)と(株)オフィスヨーコーが行いました。グリーンゴールドバイオシステム(株)は遺伝子改変植物の安全性評価試験やシロイヌナズナなど実験植物栽培の受託と有望な生薬として期待できるエゾウコギなどの薬用植物を組織培養により大量に生産し、食品、健康補助品素材として活用する研究開発、技術移転を行っている会社です。栽培の難しいエゾウコギの幼植物体をバイオリクターを使って大量に培養する過程から有効成分を抽出する過程までの確立した技術の紹介がありました。

(株)オフィスヨーコーは「広報」の視点で「印刷物」、「看板」、「イベント」などを手がける会社です。従来から官庁土木建設分野に強く、このセグメントでの基盤強化と他地域への展開を進めています。ITに強いことを活かして顧客の「広報」に関する基本情報（会社情報など）と商談に使える施工事例に関する情報などを全てデータベース化し、商談発生都度の基本情報に加えて商談対応分野向けの絞り込んだ情報を充実させ、商談顧客向けにタイムリ且つカスタムメイドの会社案内（会社情報＋工事事例紹介など）を営業支援ツールとして作成・活用することを提案している事など、活発な活動状況を紹介されました。

セミナー

「中国銀行のベンチャー企業への取組み と貸し出し審査のポイント」

交流会に引き続いて行われたセミナーは(株)中国銀行金融営業部河内浩治氏が中国銀行のベンチャー企業への取組み内容と投資や融資申込みにおける注意事項について講演しました。

同銀行のベンチャー企業向けのサービスとしては融資と投資の二つの制度があり、それらの相違点を明らかにし、投資の審査時の注意点、融資審査のポイントなどを実際に審査する側から具体的に分かりやすく解説して頂きました。投資について

は株式公開という出口が明確かというのが第一の判断基準になっていること。これは、投資は投資家にとってはあくまでも運用手段の一つであり、株式公開により利益を得ることを目標にしていることによる。また、融資については運転資金が設備資金かなど資金の使途と事業への貢献度が判断基準であり、投下資金によって得られる利益で返済がどのように可能かということが重要で、投資、融資いずれの場合もしっかりした事業計画が不可欠であるとのことでした。

9 月度 交流会及びセミナーの開催

交流会

事業紹介：ア・オリジナル(有) (株)ピークル

交流会は9月24日に開催され、入居者事業紹介はア・オリジナル(有)と(株)ピークルが行いました。ア・オリジナルは運送業界の問題点（元請・庸車先・運行企業の階層性・帰りの空車回送等）を克服する為、中小輸送会社を対象に、荷主に安価、輸送会社には安定した貨物と効率的な配車を可能にする空車や荷物情報を収集発信するシステムを構築しトラックを保有しないで運送を行うというコンセプトで一般貨物輸送事業を目指しています。

(株)ピークルはバイオナノカプセルを用いるドラッグデリバリーシステムの開発を行っています。B型肝炎ウィルスの外皮タンパク質を酵母で発現させて出来るナノサイズの中空粒子を使い、患部へ薬物を集中的に送り込むことにより、薬物の効果を高めることで過剰投与を抑え副作用を防ぐことができます。



(株)ピークルによる事業紹介の様子

セミナー

「ビジネスプラン作成セミナー」

セミナーはおかやまインキュベータ協議会（OIA）として『ビジネスプラン作成セミナー』実施しました。監査法人トーマツ岡山事務所の公認会計士大倉宏治氏より、実践的ビジネスプランの作成と題して、大企業のフォーマルなビジネスプランではなく、ベンチャー企業に向けたビジネスプランの作成法について講演がありました。

続いてビジネスプラン事例発表として㈱ピュアボックスの浅沼代表取締役から成果報酬型プロモーションによる新市場参入支援事業についてと題して自社の得意とするペット市場を中心としたビジネスプランの発表がありました。

第 22 回水島ソシエ 「ベンチャープラザ」

水島ソシエは県内企業と水島工業地帯懇談会会員との交流を深め、新たな協力関係や共同研究に向けた取組に発展することを目的として、毎月開催されています。

7月14日に第22回水島ソシエが「ベンチャープラザ～ORICの施設見学＆ベンチャー企業との交流～」と題して、ORIC交流サロンで開催されました。

参加者の自己紹介・ORICの紹介・施設見学の後、ORIC入居企業5社が次の内容のプレゼンを行いました。

㈱シックス

『コミュニケーションが変わる eK A G 』

㈱VOIPACK JAPAN

『安価・簡単な国際 P 電話』

㈱レックウェル

『遠隔教育の付加価値を高めるために』

㈱ネットワーク 2 1

『ホームページの活用術』

㈱ザイン

『企業経営とマネジメントシステム』



水島ソシエにてプレゼンの様子
㈱VOIPACK JAPAN(上)
㈱ザイン(下)

その後名刺交換会・懇親会を開催しました。

なお、交流会で名刺交換した水島ソシエ参加企業とORIC入居者の間で商談が成立しました。

第 2 回 I T 研究会 の開催

9月10日第2回IT研究会を開催しました。

第2回目の参加者は入居企業8社（内IT系7社）参加者16名となりました。

ORIC北原IMからORIC入居企業がインターネットサイトを運用する場合の検討事項についての整理と売り込みシナリオのチェックポイントの2つテーマについて話をしました。

続いて、晴れネット運営会社であるシックス㈱（101号室）からORIC入居企業向けのハウジングサービス（インターネットデータセンター）の説明、㈱エフ・エス・ケイ（112号室）からインターネットを活用した監視システムの紹介がありました。

次回開催は11月に予定していますので、積極的にご参加下さい。

入居者の活動・トピックス

岡山テクノプラザ '04 / 中小企業総合展 2004 in 東京ビックサイト

(株)シスコ・コミュニケーションズ
 (株)日本ステントテクノロジー
 (株)バイオバンク
 オーニット(株) が展示参加

2004産学官技術交流フェアの一角を岡山県産業振興財団が借りきり、岡山企業7社がブース展示をしました。ORICからは3社が展示参加し、(株)シスコ・コミュニケーションズは既存の機械式メーターに付加的にセンサーを設置してカメラで読み取りPHSや小電力無線を使って遠隔計測するシステムの展示とともに、「機械式メーター自動検針及び監視システム」のタイトルで出展者による研究開発成果説明会での説明を行いました。

(株)日本ステントテクノロジーは医療ステントの性能向上を図る最適設計ソフト開発とコンサルティングサービスを軸とした展示を行い、(株)バイオバンクは有機農法に使う農業用土壌改良剤、畜産・生ゴミ堆肥の消臭と発酵期間短縮のための薬剤の



開催日：9月29日～10月1日
 会場：東京ビックサイト

展示を行いました。同じ期間にビックサイトで併設された中小企業総合展 2004にはORICからオーニット(株)が参加、産学官共同研究により生み出された高性能オゾン発生装置として、家庭向け小型脱臭用オゾン発生装置、ハンディタイプ強力オゾン発生装置をブース展示しました。

参加各社の話しでは具体的興味をもって来訪される方が多く、手ごたえを感じたとのことです。

(株)日本ステントテクノロジーのブース



(株)シスココミュニケーションズによる研究開発成果説明

(株)バイオバンクのブース



オーニット(株)のブースには中小企業庁長官 望月氏らが訪問されていました。

㈱ピークル社、イノベーションジャパンに出展

9月28日から30日まで、東京国際フォーラムで開催されたイノベーション・ジャパン2004は、大学に於ける最先端技術分野の知財を広く紹介する「大学発の知」の初めての見本市です。展示場では、大学や大学発ベンチャーの出展・新技術紹介が行われました。ORICからは㈱ピークル社が出展しました。ブースには、国内外のビジネスパートナー候補を含み200名を超える来場者あり、多数の引合いが寄せられたとのことと有意義な出展となりました。なお同社の出展状況はNHK岡山が取材しました。



㈱ピークルの展示ブース

入居企業の紹介

株式会社 夢石庵

㈱夢石庵(むせきあん)は、平成8年7月に広島県福山市に設立されました。業種は食品の製造・販売ですが、独自ブランドの商品を開発製造し、特定会員への直接販売を行っています。商品は、日常家庭食に必要な、お米・パン・麺から、豆腐・豆乳・揚げ・こんにゃく・和惣菜・漬物・調味料に至るまで約120品目に渡っています。中でも、特に力を入れているのが大豆関連食品であり、半数以上の商品に大豆が素材として使われています。

会社設立の目的が設立時の文章に記されていますので、少し引用してみますと・・・

私たちをとりまく生活環境の中で、食生活ほど早急に見直さなくてはならないものは無いという状況になってまいりました。その大きな原因は、食が嗜好中心になったからです。私たちの身体には、何がどれだけ、どのように必要であるかははっきりと分っています。しかし、それは、具体的に一人ひとりの食生活では実践されていません。その結果、老若男女を問わず、多くの人達が病気で苦しみ、将来に不安を抱き食べ物に注意をはらい、健康食品を気にする何とも不安な生活を余儀なくされています。私たちは、このような時にこそ、食生活を根本から支える『国民的食のありかた』を、栄養学・食品工学・芸術等の分野から新しく創造

しようと考えています。

この考え方の延長線上にある事業が、『パーソナルフードケアシステム』です。

これは、単なる食材の提供サービスではなく、栄養、調理、健康、カウンセリングに通じたフードアドバイザーが会員個々の生活事情に合わせ、食生活支援を行うサービス事業です。ORICにおいては、生理活性物質の分析も含め、栄養化学、食品科学、薬学、予防医学、食生活学、教育学等の専門研究者とともにこのシステムの運用、理論化の作業を行っています。また、『オカラをはじめ大豆素材を利用した乳酸菌及び有用微生物による発酵食材の開発』にも取り組んでいます。今年度は、広島県と岡山県の助成金事業に、2件採択されたテーマがあります。また最近では、中小の食品販売業者や食品メーカーからの商品開発の依頼もきており、研究開発型企業としての基盤ができています。

会社概要

代表者	三谷 興一
設立	1996年7月1日
資本金	1685万円
T E L	084- 932- 0177(本社)
	086- 286 8017(ORIC)
U R L	http://www.musekian.jp

Information

「ベンチャープラザ岡山2004」 新製品展示募集のご案内

「ベンチャープラザ岡山2004」はイノベーションと呼べる技術やアイデアを持ちながら、資金不足やマーケット開拓など様々な課題に直面している岡山県内のベンチャー企業や中小企業の方々に対して、資金提供者やビジネスパートナーとの出会いの場を提供することを目的としています。

開催日：平成16年11月26日(金)
10時～17時30分

場所：テクノサポート岡山(岡山市芳賀5301)

募集締切：平成16年10月22日(金)必着

募集件数：60件程度

出展料：無料(搬送その他出展に要する費用は自己負担)

応募用紙：所定の様式を下記までご請求ください。
ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.optic.or.jp/zaidan/s22/venture2004/>

申込み先：(財)岡山県産業振興財団経営支援部

お問合せ ベンチャー・経営革新グループ

TEL.086-286-9626 FAX.086-286-9627

E-mail.svinfo@optic.or.jp

ベンチャープラザ中国2004

「ベンチャープラザちゅうごく2004」は、新技術や、新商品、新サービス等を有する中小企業やベンチャー企業の方々と、投資家、販路提供者、ビジネスパートナー候補等との「出会いの場」です。参加企業が自社のビジネスプラン(事業計画)を広く外部の方に聞いて頂く機会を提供するほか、個別企業の「展示・商談コーナー」を設置する等により、意欲的な取り組みを支援します。

日時：平成16年12月1日(水)9時30分～17時・
2日(木)9時～16時

場所：広島県立広島産業会館 西展示館

発表企業数：10社程度

参加費：ビジネスプラン発表者、来場者ともに無料

主な内容：ビジネスプランの発表

展示・商談コーナー設置

主催：(独)中小企業基盤整備機構中国支部、
中国経済産業局

なお、今回は「コラボレーション2004」として次のイベントと同時開催されます。

- ・中四国特許流通フェア
- ・中四国ブロック産学官連携ビジネスショウ
- ・産業クラスター計画推進セミナー
- ・大学等研究シーズ公開
- ・バイオビジネスプランニングフェア
- ・産学官連携フォーラム

入居案内

ORICでは、意欲と能力にあふれたベンチャー企業の入居を募集しています!!

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。

施設使用料

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室小	約 25㎡	22	45,000円
研究室大	約 50㎡	30	88,000円
試作開発室	約 100㎡	6	175,000円

- ・入居後3年間は、更に1/2減免の制度もあります。
- ・複数室の利用も可能です。

募集概要

対象：情報通信や、ものづくり分野を中心に
新技術・新製品の開発、創業を目指す個人・グループ・企業。

期間：3年以内(再申請もできます)。

審査：入居にあたり、審査があります。

次回募集

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催してはいますが、現在、入居審査会の開催は不定期となっておりますので、詳細は下記までお問合せください。

(参考)【入居可能研究室】(2004年10月現在)

研究室小(25㎡)：2室

研究室大(50㎡)：3室

試作開発室(100㎡)：5室

お問い合わせ

岡山リサーチパーク インキュベーションセンター

TEL: 086-286-9116 FAX: 086-286-9117

E-Mail: info@oric.ne.jp

詳細はORICホームページをご覧ください。

<http://www.oric.ne.jp>